

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名	スクールバス運行管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画	政策	3	教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
体系	施策	9	義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名	古庄 一也
	施策の柱	36	義務教育施設の整備	所属班	学務指導班	(内線)	5326
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	合志市スクールバス使用規程
	一般	10	1	2	10051		成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ~ (年度) 年度 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	遠隔地児童(旧合志町の合志小学校区の一部)の登下校での送迎、学校関係行事でのバス使用及びスクールバス車両管理。昭和44年に遠隔地児童を対象に開始。熊本電鉄による循環バスの中央小学校臨時便運行が平成29年度に終了することから、30年度は貸切バス運行で対応する。その間市内全域の遠隔地児童の登下校のスクールバス運行を検討する。
【業務の流れ】	①車両始業点検→②遠隔地児童の送迎→③下校時の児童の送迎→④車両日誌の作成→⑤登下校時以外の学校行事関係のバスの使用の受付事務及びその運行 貸切バス運行事業者の選定、委託契約、運行報告の確認、委託料の支払い業務
【主な予算費目】	職員手当(時間外手当)、消耗品費、燃料費、車検整備代等修繕費、役員費、委託料、公課費
【意見や要望】	遠隔地から通っている児童の保護者から感謝されている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	合志小学校区の遠隔地児童の登下校の送迎及び学校関係活動による児童移動での送迎を行った。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度同様に合志小学校区の遠隔地児童の登下校での送迎及び学校関係活動による児童移動での送迎を行う。 中央小学校通学バスを貸切バス運行(業務委託)で対応する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 日 →ア:送迎日数 イ:	予算の主な増減の理由 中央小学校通学バスの貸切バス運行に伴う委託料の増額
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志小学校校区の遠隔地児童及び市内児童生徒	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) →ア:遠隔地児童数 人 イ:市内児童生徒 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心・安全・確実に送迎する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) →ア:安全・安心・確実に送迎できた割合 % イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
①活動指標	ア	日	200	200	205	200	210	210	210	210	
	イ										
②対象指標	ア	人	100	95	95	90	160	200	200	200	
	イ	人	6,192	6,365	6,520	6,516	6,686	6,820	6,960	7,105	
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	2,012	1,313	1,847	1,721	12,472	12,134	12,134	12,134
		(A)のうち指定経費	千円	2,012	1,313	1,847	1,721	12,472	12,134	12,134	12,134
		(A)のうち時間外、特勤	千円	18	18	20	24	25	16	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	3	3	4	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	70	1,580	1,580	1,720	1,620	1,620	1,620	1,620
(B)人件費計		千円	259	0	6,294	6,804	6,454	6,454	6,454	6,454	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,271	1,313	8,141	8,525	18,926	18,588	18,588	18,588	

事務事業名	スクールバス運行管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 遠隔地児童の登下校での送迎及び学校活動による児童移動での送迎を安心・安全・確実にすることができる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 合志小学校区限定での送迎の他、学校活動でも利用しており利用効率が高く、また、利用が学校活動に限定されていることから妥当である。 貸切バス運行により児童を安心・安全・確実に登下校できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 貸切バス運行とする、市バスを活用することで直営で実施する、人件費のみ委託するなど方策はある。30年度に方針を決定する。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 中央小学校通学バスについては、貸切バス運行、直営、人件費のみ委託など方策はある。30年度に方針を決定する。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で行なっているので適正である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 遠隔地児童生徒を対象としており、通学距離で若干の長短はあるが概ね公平公正に運行している。また、学校行事での使用を全学校を対象にしており片寄りはない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 中央小学校通学バスについては、貸切バス運行、直営、人件費のみ委託など方策はある。30年度に方針を決定する。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

遠隔地児童の登下校での送迎及び学校活動による児童移動での送迎を安全に行った。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 遠距離児童の安全な登下校には必要な事業である。今後も継続するところである。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上		○																		
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 将来、西中央小通学バスを利用する児童の増加が予想される。																					